

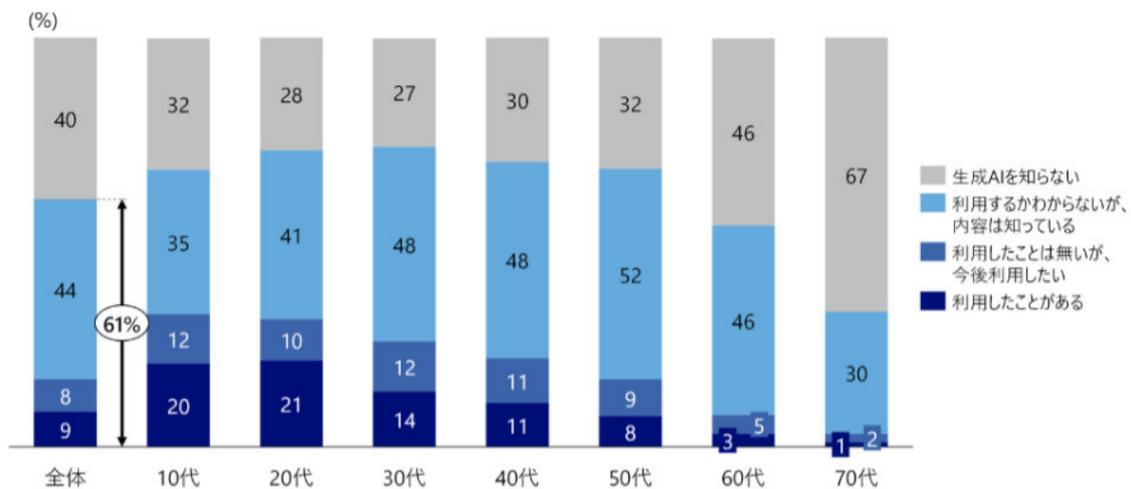
「生成 AI 若者の見方は多様 人の仕事奪うと見る 10代 48%」

生成 AI を実際に利用している人は 9%にとどまる。さらに「人間の仕事を奪う」と懸念する人の比率が 10代・20代で最も高い、など生成 AI に対しポジティブ、ネガティブな見方を併せ持つ若い世代も多い。こうした現状が野村総合研究所の調査で明らかになった。

生成 AI 知っているのは 61%

14日に野村総合研究所が結果を公表した「生活者1万人アンケート調査」は、昨年8月、全国15歳～79歳の男女計1万人を対象に訪問留置法で実施された。生成 AI を知っている人は 61%に上る一方、「利用したことがある」は 9%。「利用したことは無いが、今後利用したい」も 8%にとどまる。「生成 AI を知らない」人は 40%いる。年代が上がるにつれて認知、利用率ともに下がる傾向も明らかで、「利用したことがある」のは 60代で 3%、70代で 1%。他方、「利用したことがある」10代は 20%、20代は 21%、と大きな差が出た。

図5：生成AIの認知・利用率（年代別）



出所 NRI「生活者1万人アンケート調査」(2024年)

(野村総合研究所提供)

「なんとなく怖い」も 10代の 37%に

一方、目を引くのが 10代、20代でも生成 AI に対する期待に加え、懸念もまた大きいことをうかがわせる結果だ。「暮らしを豊かにする」とみる 10代は 49%、20代は 47%と次に多い 30代の 44%をはじめ他の年代を上回る。「よりよい社会

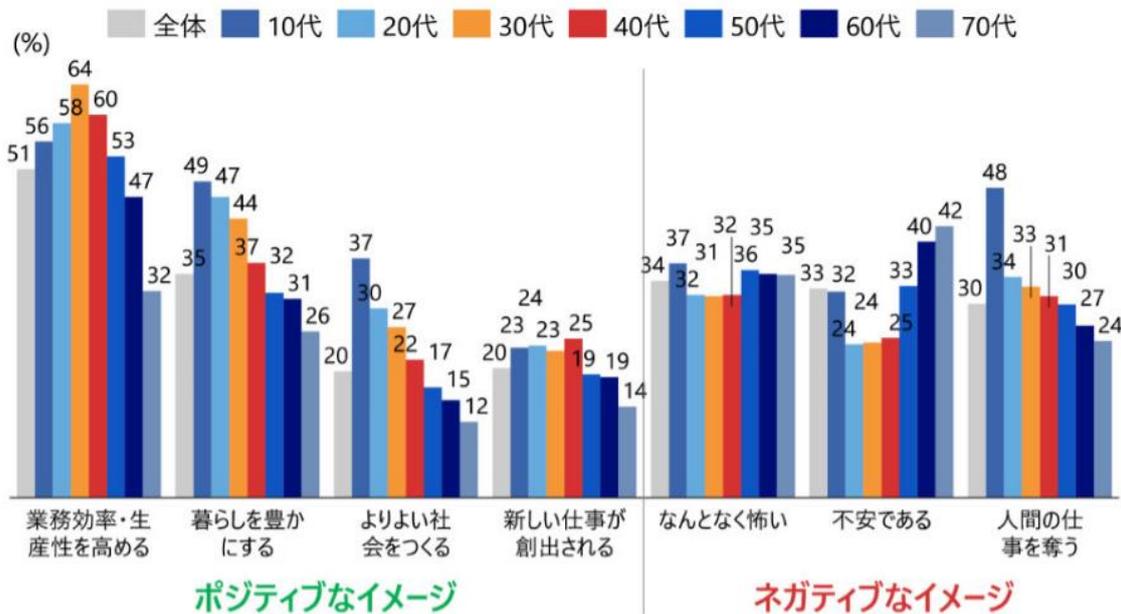
をつくる」とみる10代は37%、20代は30%と、次に多い30代(27%)をはじめ上の世代を上回るという同様の結果となっている。

こうしたポジティブな見方とともにネガティブな見方も10代、20代に多い。「人間の仕事を奪う」と見る人は全体で30%だが、10代は48%と飛び抜けて多い。20代もそれ以上の年代とあまり差はないものの34%と10代に次いで高い比率となっている。「なんとなく怖い」も全体で34%おり、全年齢層で30%を超すが、最も多いのが10代で37%に上る。

具体的メリット期待する30代

ポジティブな見方の中で、もう一つ目を引くのは「業務効率・生産性を高める」と見る割合が最も高かったのが30代で64%に上るという結果。次いで多いのが40代で60%となっている。一方、10代は56%、20代は58%と30代、40代より少ない。こうした結果から、「30代では『業務効率・生産性を高める』という具体的なメリットを想定する一方、10代・20代では『暮らしを豊かにする』『よりよい社会をつくる』といった抽象的なメリットをイメージしやすい傾向も見られる」との見方を野村総合研究所は示している。

図6：AIに対するイメージ（年代別、複数回答）



出所) NRI「生活者1万人アンケート調査」(2024年)

(野村総合研究所提供)

10代の高い関心示す過去の調査も

生成 AI に関して一般の日本人がどのように見ているかについては、博報堂生活総合研究所が一昨年 9 月に首都圏と京阪神圏の 15～69 歳の男女 1,008 人（有効回答数）に対し、インターネットによる手法で実施した調査がある。2024 年以降でヒットしそう・話題になりそうな商品やサービス、コンテンツを尋ねた調査だ。2 位に入ったのが生成 AI に対する関心を一挙に高めた ChatGPT。関心の高さは年齢・性別で大きな差はなかったが、特に 15～19 歳男性が 1 位に挙げられていたのが目を引いた。

若い層が特に生成 AI に対する関心が高いことをうかがわせる資料としては、日本財団が一昨年 8 月に 17、18、19 歳の男女 1,000 人を対象に実施した「18 歳意識調査」結果もある。36.1%が「生成 AI を使ったことがある」と答えている。生成 AI を使ったことがある人のうち「テキスト生成 AI」を挙げた人が 92.8%と最も多く、「画像生成 AI」が 31.3%、「動画生成 AI」が 5.5%、「音声生成 AI」が 4.7%、「音楽生成 AI」が 3.0%と、さまざまな活用をしている実態を示す結果となっている。

日文 小岩井忠道（科学記者）

関連サイト

野村総合研究所 [「野村総合研究所、10 回目の『生活者 1 万人アンケート調査』を実施～コロナ禍を経た日本の生活者に戻らなかったもの～」](#)

博報堂生活総合研究所調査レポート [「2024 年ヒット予想&2023 年ヒット実感ランキング」](#)

日本財団 [18 歳意識調査結果 第 57 回テーマ「生成 AI」](#)

関連記事

2023 年 11 月 08 日 [消費者調査证实惊人结果：ChatGPT 高关注和高期待](#)

2023 年 09 月 20 日 [“ChatGPT 可以帮助设计，大学教育和高考也将改变？”](#)

2023 年 05 月 25 日 [OECD 司长为应用 AI 建言：“需从根本上重新审视教育和入学考试”](#)